



2026年5月15日

各 位

会 社 名	大石産業株式会社
代 表 者 名	代表取締役社長 山口 博章
コード番号	3943 東証スタンダード、福証
本社所在地	北九州市八幡東区桃園 2-7-1
問 合 せ 先	取締役管理部長 大谷 洋文 電話 093-661-6511

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について（アップデート）

当社は、本日開催の取締役会において、2024年12月19日に開示いたしました「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」について改めて現状を分析・評価し、改善に向けた方針・取り組み等をアップデートいたしましたので、お知らせいたします。

詳細につきましては、添付資料「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応（アップデート）」をご覧ください。

以 上

2026年5月アップデート

資本コストや株価を意識した 経営の実現に向けた対応

2026年5月15日

未来を包む - Inclusion for Future -



大石産業株式会社

東証スタンダード、福証: 3943

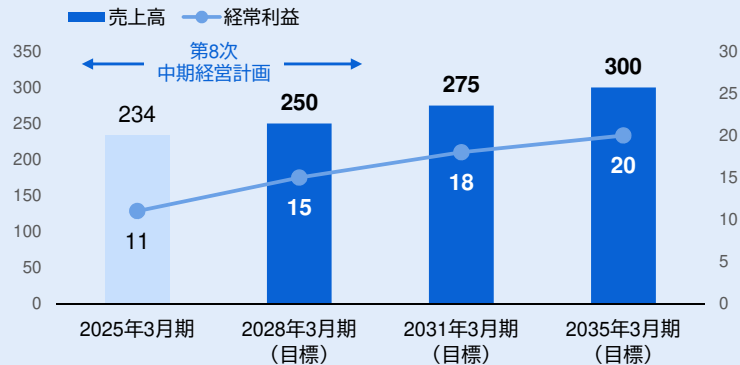
- 2025年5月に長期ビジョン、及び達成に向けた成長の仕組みづくりを担う最初の3か年として第8次中期経営計画を策定
- 企業価値向上に向け、3つの柱を中心に取り組みを展開

長期ビジョン New Challenge Vision 2035

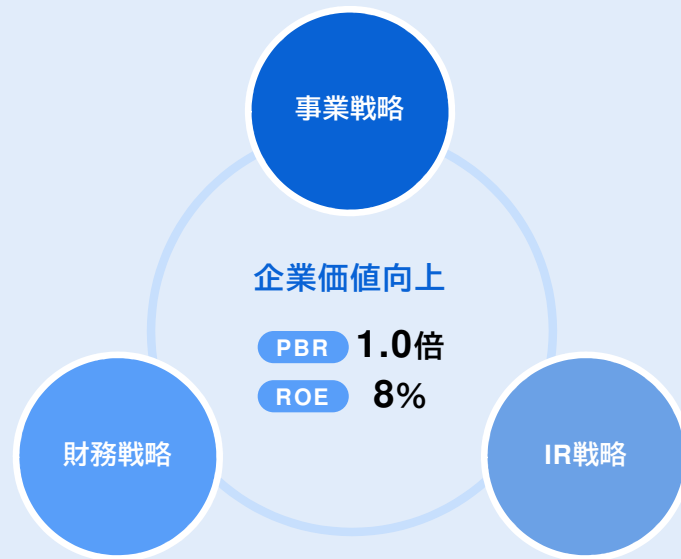
数値目標

売上高 300億円 設備投資額 100億円超
 経常利益 20億円

連結売上高・経常利益の目標



企業価値向上に向けた3つの柱

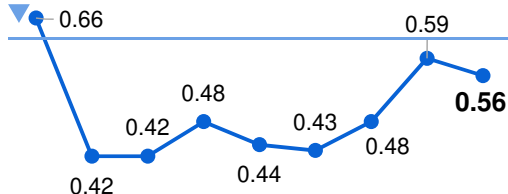


- 2024年以降、株主還元の充実・IR情報の発信強化により、時価総額・PBR・PERが改善
- PBRは業界平均値に近づいているものの、目安とされる1倍を下回る
- PERは業界平均値と同水準まで改善

PBR

(倍)

東証S紙・パルプ平均(2026年3月)
0.6倍

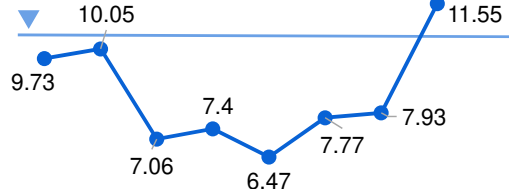


2018年 3月期 2019年 3月期 2020年 3月期 2021年 3月期 2022年 3月期 2023年 3月期 2024年 3月期 2025年 3月期 2026年 3月期

PER

(倍)

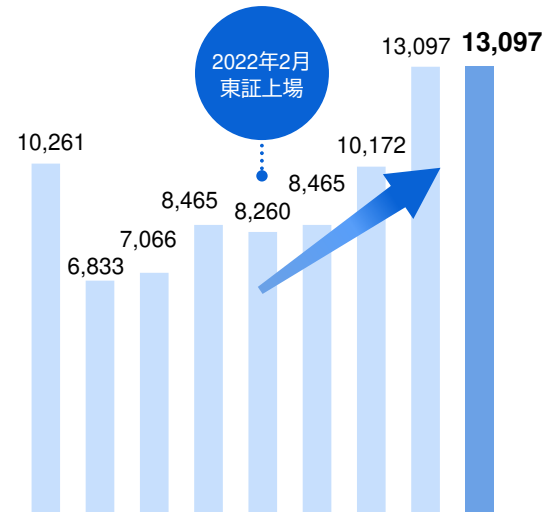
東証S紙・パルプ平均(2026年3月)
10.5倍



2018年 3月期 2019年 3月期 2020年 3月期 2021年 3月期 2022年 3月期 2023年 3月期 2024年 3月期 2025年 3月期 2026年 3月期

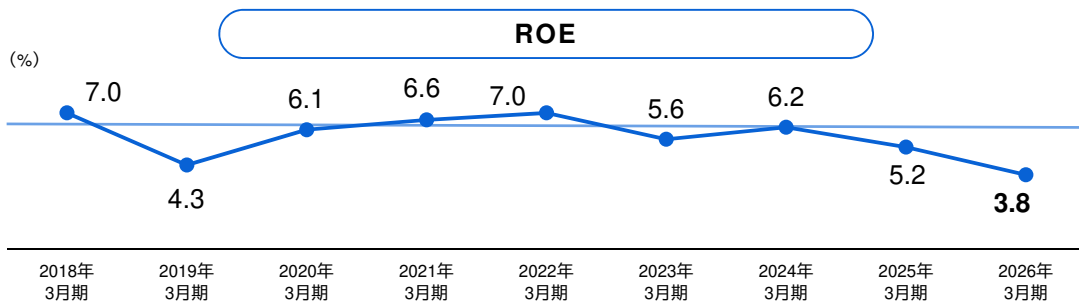
時価総額

(百万円)



2018年 3月期 2019年 3月期 2020年 3月期 2021年 3月期 2022年 3月期 2023年 3月期 2024年 3月期 2025年 3月期 2026年 3月期

- ROEは株主資本コストを下回っており、目標である8%にも未達の状況
- ROEの向上には、収益力向上、資産効率の向上が必要



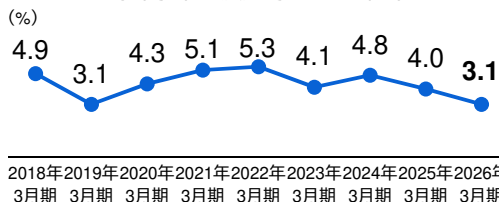
CAPMに基づく株主資本コスト※

当社試算 **6.5%**

※ 株主資本コスト = リスクフリーレート + β × 市場リスクプレミアム

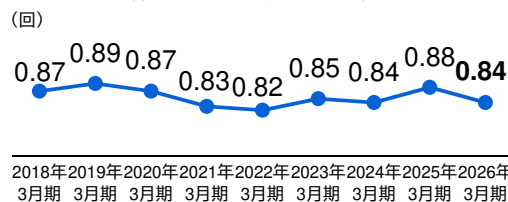
売上高純利益率

成長投資による償却費増加や海外事業の減速等により、低下



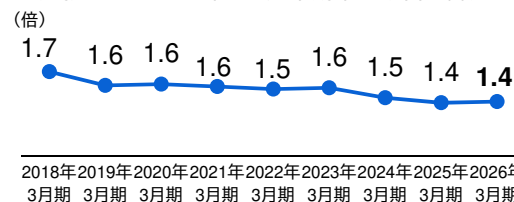
総資産回転率

売上高の増加とともに総資産も増加しており、横ばいの状態



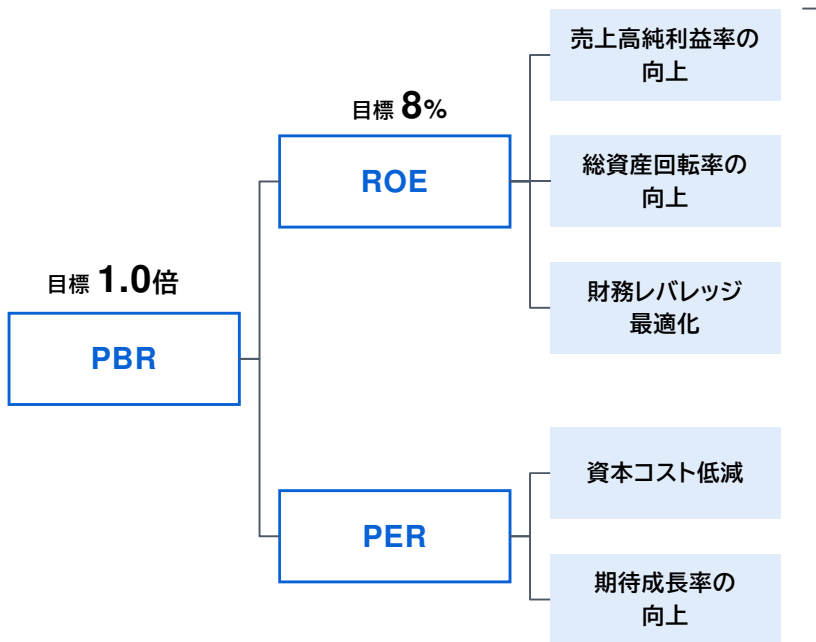
財務レバレッジ

財務安全性は高い(自己資本比率69%)が、財務レバレッジは低く、資本効率の改善が課題



各種施策の実行により、株価・企業価値の向上を目指す

—— PBR向上 = ROE向上 × 資本コスト低減 ——



—— ROE向上 = 収益力向上 × 資本効率の改善 ——



事業戦略

取り組み方針	進捗状況
<p>1 収益性向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中期経営計画の達成 ・主要事業の新製品・新市場開拓による成長加速 ・投資効果の早期実現 	<p>パルプモールド</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.茨城工場設備増強 ～供給力強化 2.高付加価値製品「パラミル」の展開 3.新市場開拓と持続的成長基盤の構築  <p>フィルム</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.新製造ライン稼働(多層Tダイ) ～成長市場への本格参入 2.特殊フィルム開発、新たな価値の創造 (電子材料・自動車・ヘルスケア分野向け) 3.事業ポートフォリオ戦略 ～安定収益と高成長の最適バランス～ 
<p>2 持続的成長を支える ESG経営基盤の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人的資本投資で生産性向上 ・DX推進で業務効率化 ・多様性推進で組織力強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・多様性、女性活躍推進 ・自社専用生成AI環境の構築・全社展開 ・SFA(Sales Force Automation)を活用した営業効率化・高度化 ・スペシャリスト人材の拡充・強化 ・エンゲージメントサーベイの実施と職場環境の継続的改善 ・従業員の健康増進施策の充実 ・譲渡制限付株式報酬制度の導入(社員持株会会員対象) <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div data-bbox="937 885 1022 971"> <p>3 すべての人に 健康と笑顔を</p>  </div> <div data-bbox="1051 885 1137 971"> <p>4 思い強い教育を みんなに</p>  </div> <div data-bbox="1166 885 1252 971"> <p>5 エンゲージメントを 実現しよう</p>  </div> <div data-bbox="1281 885 1366 971"> <p>8 ひとひとを 大切にしよう</p>  </div> <div data-bbox="1395 885 1481 971"> <p>9 健康と生産性の 両立をしよう</p>  </div> <div data-bbox="1510 885 1596 971"> <p>10 人々の未来を 生かそう</p>  </div> </div>

取り組み方針

進捗状況

1 株主還元の充実

- 配当方針の見直し
- 自己株式の活用、流動性向上施策の検討

- 株主優待の拡充(2025年3月期)
 - 長期保有優遇制度を新設
- 流動性の向上を目的に株式分割を実施(2024年10月)
 - 投資単位の引き下げを目的に、1株あたり2株の割合で株式分割
- 配当方針の見直し(2025年3月期)
 - 配当目安:DOE1.5%以上→DOE2.0%以上
 - 2026年3月期実績:DOE2.1%

2 資本効率の向上

- 政策保有株式の縮減
- 不要資産の整理

- 2025年7月 政策保有株式縮減方針を開示
 - 連結純資産に占める比率を5%以下に削減

政策保有株式縮減に向けたロードマップ

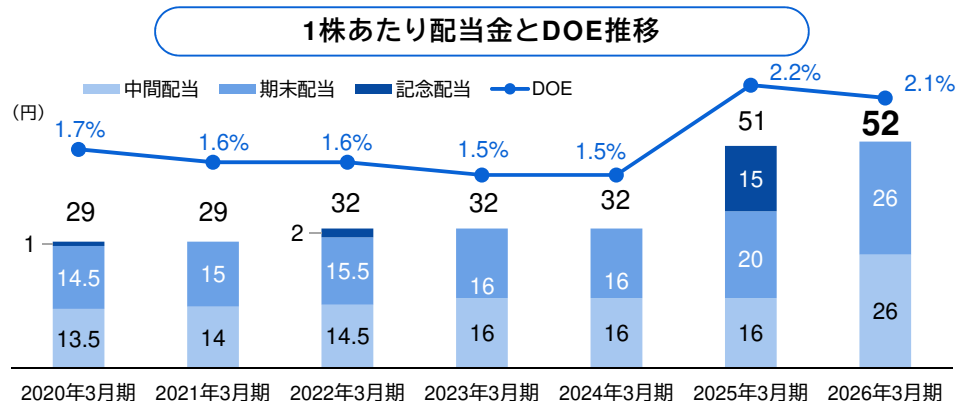
現状分析	✓
削減方針策定	✓
保有継続／売却判断	✓
売却先選定	✓
売却先との対話、売却時期の検討、実行	次段回

取り組み方針	進捗状況												
<p>1 情報開示の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> IRサイトの充実とIRコンテンツの継続的な拡充 	<ul style="list-style-type: none"> 外部パートナーと連携した情報発信、IRコンテンツの拡充 <ul style="list-style-type: none"> 書き起こし記事の配信を開始 決算説明会の動画配信を開始 株主数の増加 2025年3月末比 +44.9%(6,985名→10,122名) 												
<p>2 投資家との対話の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 投資家向け説明会の拡充 <ul style="list-style-type: none"> 個人投資家向け説明会、機関投資家向け決算説明会の継続開催 定期的な社内へのフィードバック 	<ul style="list-style-type: none"> 投資家との対話実績 <table border="1" data-bbox="910 467 1698 743"> <thead> <tr> <th>活動内容</th> <th>主な対応者</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>決算説明会</td> <td>代表取締役社長、取締役(財務担当)</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>機関投資家との個別IRミーティング</td> <td>取締役(財務担当・経営企画室担当)、IR担当者</td> <td>7回</td> </tr> <tr> <td>個人投資家向け説明会(参加者:リアル91名)</td> <td>代表取締役社長</td> <td>1回</td> </tr> </tbody> </table> 投資家との面談内容や寄せられたご意見を経営層へ定期的にフィードバック <ul style="list-style-type: none"> 取締役・執行役員参加にて隔月で情報開示委員会を開催 IRは経営企画室にて担当 経営企画室は社長直轄組織であり、投資家からのフィードバックを迅速に伝達できる体制を構築 	活動内容	主な対応者	回数	決算説明会	代表取締役社長、取締役(財務担当)	1回	機関投資家との個別IRミーティング	取締役(財務担当・経営企画室担当)、IR担当者	7回	個人投資家向け説明会(参加者:リアル91名)	代表取締役社長	1回
活動内容	主な対応者	回数											
決算説明会	代表取締役社長、取締役(財務担当)	1回											
機関投資家との個別IRミーティング	取締役(財務担当・経営企画室担当)、IR担当者	7回											
個人投資家向け説明会(参加者:リアル91名)	代表取締役社長	1回											

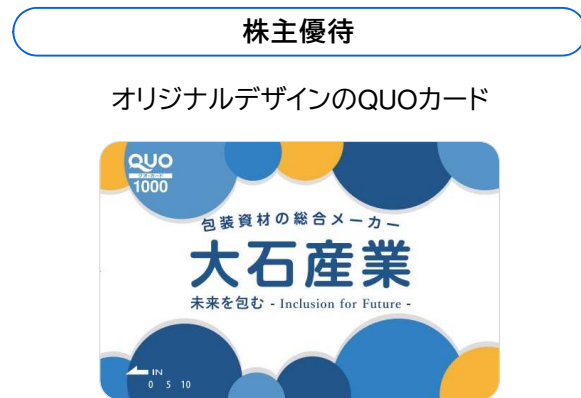
IR戦略

株主の皆さまへのさらなる利益還元を目的に、2025年3月期に配当方針を変更・株主優待制度を拡充

	変更前	変更後
配当方針	配当目安:DOE1.5%以上	配当目安:DOE2.0%以上
株主優待	保有株式数に応じたQUOカード	長期保有優遇制度を新たに設置 保有株式数、保有年数に応じてQUOカードを進呈



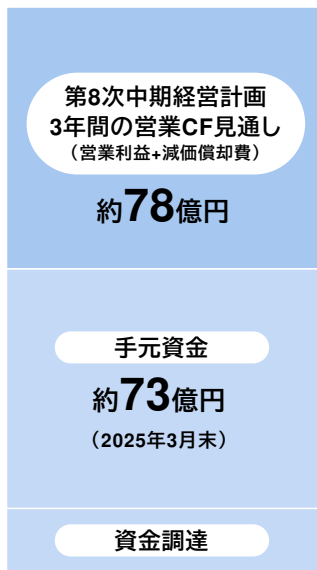
1株当たり配当金は2024年10月1日付で実施した株式分割を考慮した数値としています。



第8次中期経営計画では、過去最高となる3か年合計80億円の設備投資を計画。
持続的成長と企業価値最大化に向けた成長投資を優先して実施する

第8次中期経営計画期間(3年間)のキャッシュフロー

キャッシュイン(手元資金含む)



キャッシュアウト



未来を包む - Inclusion for Future -



本資料についてのお問合せ先

大石産業株式会社 経営企画室 IR担当

本資料の将来に関わる一切の記述内容は、現時点で入手可能な情報に基づく当社の判断によるものですが、現状または将来のリスクや不確実な要素が含まれています。

また、実際の業績は経済情勢の変化、法的規制の変化、自然災害等により変動する可能性があります。